

広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

△五城目の朝市▽

NHKの明るい農村で放送
五城目の朝市はその素朴な店の
たぐずまいと、新鮮な野菜や果物
を売っていることで全国的に知ら
れていますが、このたびNHK T
Vの明るい農村で全国放映される
ことになりました。去る一月七日
から十日にわたり市場風景や、館
越の野菜生産農家の作業状態を取
録しております。

・放送 一月二十一日
午前六時三十分～五十五分
・再放送 一月二十一日
午前十一時二十分～四十五分
・リポ1ター 茨城県 山口二門

部落の長老を先頭に喜びの渡り初め、湯ノ又上川原橋



加えて湧水や軟弱地質による難工事、秋田県候所開設以来の豪雪、それにオイルショックによる物価の急騰と資材不足等による工事の遅れ、事業費がかさむなど、文字通りの内憂外患であったが、関係者の結束は見事これをはねのけた。

互助の精神が明日への発展に

しかし当日竣工式に参列した農家は、寒風の中にもかかわらず村の年の長を先頭に生まれ変わった上川原橋を胸を張って渡り初めをした。お互いの、譲り合いと忍耐がこの事業を完成させたのである。その互助の精神が農業後継者達に魅力ある郷土にし明日への発展に結びつくことを思えば、貴重な代償であったのかも知れない。

全町の開場整備率70.1%

ちなみに本町の開場整備状況を見ると、総面積1,744ヘクタールのうち、50年度1月現在で70.1%になっている。51年度は更に5地区50ヘクタールの整備が予定されており、整備条件の困難な山間地域をかかえながら、当事者と町の協力で近代的農業が全町のな足並みを揃える日はすぐそこに来ている。

湯ノ又地区 土地改良事業喜びの竣工

開場整備は農業の基本

去る1月7日、湯ノ又地区土地改良事業の完了にとともに、関係者150名出席のもとに喜びの竣工式をあげた。この事業は団体営圃場整備事業で昭和48年度から3カ年にわたって施行されたもので、対象総面積57.8ヘクタール、総事業費1億3千5百万円となっている。

近年の変動する経済情勢の中で弾力的、効率的に農業経営の維持発展を図るためには、地域の特性に即応した営農計画に裏づけられた生産基盤整備を促進することが、農業の基本とされている。それが、能率の高い機械の導入や近代的な施設の整備に役立つことは勿論、生産性の向上、営農技術の高度化、水利の安定と合理化に結びつくからである。

内憂外患をはねのける

土地改良事業に取り組む場合は湯ノ又地区のみならず、いづこの場合にも該当するが、関係者の同意を得る時、そして配分の時は困難を極める。土地に執着する利害得失がからみ合い、15日間連日連夜の協議が続けられようやく決着をみたという。

世情騒然の中で誕生

五連青三二十年史 〇

五城目町連合青年会が、来る一月二十五日町民センターにおいて設立二十周年記念式典をおこなう。昭和三十年までは秋田県連青、南秋田郡連青、湖東郡連合青年会として各単位青年会の体系であった。確かにそれぞれの組織として連帯感があり特徴もあったが、活動の多様化が定着してくると、それまで湖連青や郡連青の手助けを必要としていた各単位のしつけがかりと自分達の手で運営できるようになっていったし、組織の屋上屋を架すするきらいもあり、各単位の活動が活発化すればする程、湖連青郡連青の存在意義が問われるようになっていった。

その頃湖東部一円の町や村では四カ町村か、五カ町村か、七カ町村かの合併論で騒然とした余韻が尾を引き、大川、面湯地区の分町問題がこままた鳴り物入りの攻防県下注目町となっていた。この中で発足した五連青にはあるが、その趣意は、新しい五城目町の行政の広域化が、町民の期待とは異腹に毎日政争の度合を深くして一本化し、この機会を各単青を一本化し若人達が活動を通じて住民の結合を図ろうというものであった。

しかし、歴史と伝統に支えられている各単青の解体は同意を得られず、連合体を結成することで話し合いはまとまらず。初年度の運営は会長の選出から難航し、連日連夜話し合いを続けようやく誕生したのが、伊藤富司氏であった。

上樋口高砂会

元日を高砂で清める

元旦の底から声を出し、高砂の謡い初めをしている会を訪ねてみた。会の名称は「上樋口高砂会」で、結成してから十五年の歴史をもつていた。

親子体力づくり教室

次の日程により町内の保育所、保育園、幼稚園児とその親を対象に体づくり教室が開かれます

おたのしみ会

おたのしみ会は、禁酒を前提とした三十日間の寒修行であった。今年ではそれもなつかしい思い出話。



元日の謡初めをする高砂会のみなさん

- 親子体力づくり教室
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会
おたのしみ会

家族そろって

交通災害共済へ加入しましょう

初春の秋田県内は例年にない程痛ましい交通事故の多い年になっております。このような暗いニュースは、交通事故を絶滅出来ない以上続くわけですが、秋田県では不慮の災難に備えて、昭和四十四年四月から交通災害共済組合を設け、県民の負担を少しでも軽くするためのお手伝いをしております

出稼留守家族との話し合いや健康相談をおこない

このたび町では農業委員会、農協及び社会福祉協議会とともに、留守家族の種々の悩みや出稼先の実況等もお聞きせ願ひ、町の出稼対策に反映させるため、次により座談会を開催いたしますから、多数お誘いのうえ出席くださるようお願いいたします。

人権相談用

留守番電話をご利用ください
秋田地方事務局では、国民に保障されている基本的人権を守り、あわせて人権思想普及と高揚を図る意味から、各地域毎に特設相談所を設け、住民の法律相談等に応じてきましたが、このたび、より一層住民の便利に相談用留守番電話を設け、職員の見学後相談を受け付けることいたしました。

そり、小児用自転車等による事故は、災害共済金支給の対象になりません。
・加入のできる人は
町に住んでいる人で、住民基本台帳に記録されている人、外国人登録をしている人、または組合加入町村の事業所、学校等に通勤し通学している人ならどなたでも加入できます。
・掛金は
一人年三〇〇円です。(年度中いつ加入しても三〇〇円)
・共済期間は
毎年四月一日から翌年三月三十一日までの一年間です。
ただし途中加入の人は加入の翌日からです。
・加入の申込みの受付
昭和五十一年二月一日から加入申込みの受け付けをしておりますから、役場へ申込書を掛金を添えて申込んでください。
・災害共済金は
一、死 六〇万円
二、自賠法施行令別記の等級区分の第一級各号の障害 二四万円
三、六カ月以上の治療を要する期間とする。ただし一週間以上一日の実治療日数を要する。
一五万円
四、五月以上 四八千円
五、四月以上 四六千円
六、三月以上 三五千円
七、二月以上 二三千円
八、一月以上 二千円
九、一週間以上の治療を要する傷害 六千円
・災害共済金の請求とうけとり方
①請求期間は災害を受けた日から一年以内
②加入者証
③警察署長の事故証明書
④医師の診断書(死亡のときは死亡診断書、または死体検案書と戸籍簿)
⑤その他必要と認める書類
以上の書類を役場へとどけると共済金が支払われます。
その他くわしいことは、役場でおたずねください。
留守番電話をご利用ください

